

## NEWS23 週刊報告      ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：7/1～7/5

### ・ 7/1(月)

香港デモ、米帳首脳会談、日韓関係、日本が国際捕鯨位委員会から脱退、イランの低濃縮ウラン、【異論反論】#なくなる喫煙所などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、日韓関係については放送法の観点から問題と考えられる場面が見られました。

### ・ 7/2(火)

香港デモ、イランの低濃縮ウラン、放送文化基金賞、【異論反論】#「党首討論」聞きたいテーマはなどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法の観点からは問題と考えられる場面は見られませんでした。

### ・ 7/3(水)

党首討論、韓国への輸出規制強化、岩屋防衛相が山口県に謝罪などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、党首討論については放送法の観点から問題と考えられる場面および印象操作の疑いのある場面が見られました。

### ・ 7/4(木)

参院選公示、続・党首討論などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、参院選公示については放送法上高く評価できる点が見られた反面、続・党首討論については放送法の観点から問題と考えられる場面が見られました。

### ・ 7/5(金)

韓国「慰安婦財団」が正式に解散、中朝会談などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上は特に問題は見られませんでした。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年7月1日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
検証テーマ：香港デモ、米帳首脳会談、日韓関係、日本が国際捕鯨位委員会から脱退、イランの低濃縮ウラン、 【異論反論】 #なくなる喫煙所		
報道トピック一覧 <ul style="list-style-type: none"> <li>・香港デモ</li> <li>・九州中心に災害級の大雨</li> <li>・米朝首脳会談</li> <li>・日韓関係</li> <li>・日本が国際捕鯨委員会から脱退</li> <li>・ジャニー喜多川さんの入院公表</li> <li>・イランの低濃縮ウラン</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・【異論反論】 #なくなる喫煙所</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨 <ul style="list-style-type: none"> <li>・香港デモ：結論→特に問題なし                      香港のデモについて以下に朱記したように取り上げられていた。</li> </ul> 小川彩佳「まずは先程入ってきたことらのニュースからお伝えします。香港で動きがありました。今朝から逃亡犯条例の改正案に反対するデモを行っていたデモ隊が日本時間の午後10時前、議会に突入しました。」 ナレ「イギリスから中国に変換されて22年を迎えた香港の逃亡犯条例の改正案に抗議するデモ隊が日本時間の午後10時前、議会に突入しました。」 奥野宏輝（報告）「窓ガラスが完全に割れました。そして中にいる警察官、透明の盾を持って守っています。そしてその奥、赤い旗が見えるんですが、武力を使って止めると書かれています、非常にこの状況、非常に興奮した状態です。」 ナレ「デモ隊は日本時間午後七時以降、何度も台車をぶつけるなどして議会のガラスを割り、内側のシャッターを破って議会の中に侵入しました。デモ隊は今朝、中国国旗を掲げる記念式典を妨害しようと幹線道路を封鎖、警察が催涙スプレーなどを使って一度は排除しましたが。その後、議会を包囲していました。一方、香港政府も警官13人がデモ隊に何らかの液体をかけられ呼吸困難や肌が荒れるなどの症状が出て病院に搬送されたとしています。繰り返しお伝えします。香港で日本時間午後10時前、逃亡犯条例の改正案に抗議するデモ隊が議会に突入しました。香港で日本時間午後10時前、逃亡犯条例の改正案に抗議するデモ隊が議会に突入しました。」 小川彩佳「それでは現地の状況を伝えてまいります、森岡さんお願いします。」 森岡紀人（中継）「はい、私は今、香港の議会に当たる立法会、その議場の中にいます。こちらなんですけれども普段は議員の方がこちらに座って議論をするんですけれども、今、現在、デモ隊に占拠されています。デモ隊		

は午後、日本時間午後 10 時頃にこちら一階のシャッターを破って、そして侵入しました。そして、ここの議場、二階にあるんですけどもあつという間に占拠されました。デモ隊はここを占拠したあと、あちらの壁、黒いスプレーで書かれているの、おわかりになるでしょうか。改正案、逃亡犯条例の改正案を撤回しろと、言う文字を書いて、逮捕された人たちを釈放しろと書きました。そしてその上なんですけれどもあれは香港のシンボルマークなんですけども、あそこに中華人民共和国香港特別行政区と書かれているんですけども、中華人民共和国のところだけを黒いスプレーで塗りつぶしました。現在今コチラでデモ隊は逃亡犯条例を撤回せよ、そして逮捕された人を釈放せよと叫んでいます。」 "

小川彩佳「はい、現地からの方向でした、これまでいわば平和的なデモが繰り返されてきた香港ですが、ここにきて議会に突入するという新たな展開を迎えました。事態は混迷を極めていますが、この背景にあるのは香港が香港でなくなるという現地の方々のとめどない絶望感、怒り、そして強い危機感であるということはここで改めて申し上げておきたいと思います、また新しい情報が入りましたらお伝えします。」

また番組の終盤の方ではスタジオで以下に朱記したように取り上げられていた。

"小川彩佳「それでは冒頭でお伝えした香港のデモ今どうなっているか、こちら現在の映像ですけども大きな暴動などは起きていない。」

星浩「そうですね、香港の事情に詳しい知人の話ですと先日の 200 万人デモのときはビジネス界も非常に応援していたらしいんですけども今回の議会選挙の行動に対してはどんな影響がでてくるかちょっと目が話せないですね、はい。」

小川彩佳「明日も引き続き、お伝えすることになりそうです。それではニュース 23 また明日です。」 "

このトピックに当てられた時間は 259 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・米朝首脳会談：結論→特に問題なし

米朝首脳会談について以下に朱記したように取り上げられていた。

小川彩佳「こちら、軍事境界線を越えてアメリカの現職大統領として初めて北朝鮮に足を踏み入れることとなりましたトランプ大統領、そして隣りにいるのは金正恩党委員長です。まさに歴史的な瞬間となったわけですが、このサプライズ、始まりはわずか 32 時間前にトランプ大統領が放った Twitter でした。」

ナレ「二人の電撃的な会談を北朝鮮のメディアも大々的に報じました。」

朝鮮中央テレビ「金正恩同士が板門閣から出てこられました。」

"ナレ「北朝鮮側の施設から幹部らを引き連れ現れた金正恩党委員長、一方、トランプ大統領は一人ゆっくりと北朝鮮側に、近づく金党委員長に小さく手を振ります。」

朝鮮中央テレビ「分断の象徴だった板門店で互いの手を握り合い、歴史的な握手をするという驚きの現実が繰り広げられました。」

ナレ「現職のアメリカ大統領が南北軍事境界線を越えて、史上初めて北朝鮮側に足を踏み入れたその瞬間はスローで編集されていました。」

朝鮮中央テレビ「あらゆる予想と憶測、常識と慣例を超越した朝米首脳はこの型破りな会談は世界を大きな衝撃と激動で沸き立たせました。」

ナレ「そしてカメラが映し出したのは北朝鮮側で再び握手を交わす両首脳、その後二人は揃って軍事境界線を越

え、韓国側へ。韓国側の施設で三回目の米朝首脳会談が行われました。北朝鮮メディアが伝えた映像の中には金党委員長がトランプ氏の長女、イヴァンカ大統領補佐官と握手する姿も。」 "

"ナレ「一方、アメリカ、ホワイトハウスの **Twitter** には両首脳が再会した際のこんなやり取りが。」

トランプ大統領「友よ。」

金正恩「お会いできてうれしいです。ここで大統領にお会いできるとは思ってもいなかったです。」

トランプ大統領「光栄です。私にこの線を越えてほしいですか。」

金正恩「大統領が一步踏み出せば、史上初めて我々の地に足を踏み入れる現職の大統領になります。」 "

"ナレ「突如として実現に至った今回の会談、始まりは一昨日の朝、大阪でトランプ氏が投稿した **Twitter** でした。」

トランプ大統領 (**Twitter**) 「これから日本を発ってムン大統領と韓国へ行く。これを金党委員長が見ているなら **DMZ** (非武装地帯) で彼に会って握手する用意がある。」

ナレ「このあと、ムン大統領に、私のツイッターを見ましたか、と訪ねたトランプ氏、ムン氏がはい、見ました、と答えると、一緒に努力しましょう、と話したということです、そして昨日。」

トランプ大統領「我々は非武装地帯にいきます。そこで金党委員長と会うことになります。」

"ナレ「トランプ氏は米韓首脳会談のあと、金党委員長と面会することを明らかにしたのです。 **Twitter** を投稿してからわずか 32 時間後に実現した会談。」

トランプ大統領「すばらしい、非常に歴史的だ。」

金正恩「昨日の朝 (**Twitter** での) 大統領の意向表明を見て私自身とても驚いた。大統領と私の中に存在するようなこのような素晴らしい関係でなければ、おそらく一日で対面を成し遂げることができなかったと思う。」

トランプ大統領「もし彼が現れなければ米メディアは私を批判していただろう。」 "

ナレ「会談は一時間近くに及び、この中でトランプ氏は金党委員長をホワイトハウスに招待する考えを示しました。」

河野太郎外相「トランプさんがツイートをしたら、もう小一時間で北側からレスポンスがあったっていいので、それでアメリカ側も多分驚いたんだろうと思います。」

"ナレ「まさに、電撃的に実現した米朝首脳会談。現場で取材していたメディアも大混乱となり CNN によると就任したばかりのグリシャム大統領報道官が打撲を負ったということです。帰国の途につく機内で。」

記者「トランプ氏のやり方は博打ではなかった。」

ポンペオ国務長官「うまくいった。」 "

ナレ「ポンペオ氏は非核化を巡る実務者協議を今月半ばにも再開するとしています。」

"小川彩佳「まあ映像としては歴史的な瞬間ではありましたが、これはあくまでもトランプ大統領の大統領選に向けたパフォーマンスだという冷めた反応もあるようですね。」

星浩「まあそうですね、まあ派手な政治ショーだった割には実務者協議の再開という合意内容はちょっと落差がありますよね。」

小川彩佳「ギャップがありますよね。」

星浩「まあトランプさんの狙いの最大の一つは、やっぱりそのアメリカで今、民主党の大統領候補がね、ディベートをやっていたんですね。ちょうどね、20 人ほどいましてね、まあほんと派手なディベートでしたね、それに対抗してね、アピールするという狙いがあったわけですし、今回そのトランプさんと金正恩さんの関係で核実

験も ICBM の発射もさせていないんだというのもまあアピールしてたわけですよ。」

小川彩佳「ただまあこれに対してアメリカ国内の実際の反応というのはどういうものなんでしょうか。」

星浩「まあね、そのトランプさんの支持層にはね、アピールしたんでしょうけど、そうじゃないところにはそれほどアピールできなかったと思いますね。まあアメリカでやっぱりその北朝鮮は非核化に向けて一歩も進んでいないし、核開発も進めていますし、それから人権上も問題があるんじゃないかという冷めた見方がまだまだ根強いと思いますけれどね。」

小川彩佳「支持者、反支持者の構図が変わるといほどのものではなかったということでしょうか。」

星浩「そうだと思いますね。」

小川彩佳「そうですね。」

このトピックに当てられた時間は 424 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・日韓関係：結論→やや不十分

日韓関係について以下に朱記したように取り上げられていた。

"小川彩佳「さて、続いては最近ギクシャクしている日本と韓国の関係ですが、更に拍車がかかることになりそうです。」

山本恵里伽「政府は韓国に対し、半導体の製造に必要な材料への輸出規制を強化する方針を明らかにしました。徴用工問題を巡る対抗措置と見られています。」

"ソウル市民 A「脅迫するのは正しくないと思います。」

ソウル市民 B「日本が製品を作る際に必要な韓国の材料にも韓国政府は当然制裁を加えるべきだ。」

ナレ「日韓の新たな火種となるのでしょうか、日本政府は今日、一部の化学物質について、韓国へ輸出する際の規制を強化すると発表しました。対象となる品目はいずれもテレビやスマートフォンなどのディスプレイや半導体の製造に使われるものです。」

"ナレ「韓国メディアは」

YTN テレビ「半導体と携帯電話、家電製品を主に生産するサムスンや LG など韓国を代表する企業が受ける被害は少なくないと予想される。」

"ナレ「輸出規制によって韓国経済はどのくらい影響を受けるのでしょうか、規制の対象となる 3 つの品目（テロップで「フッ化水素、レジスト、フッ化ポリイミド」と表示）のうちの一つフッ化水素。半導体の加工に欠かせないもので高純度のものを作るには高い技術が必要だといいます。」

田嶋稔樹（芝浦工業大学教授）「日本の企業が非常にあの有力な技術を持っていました、日本でないとなかなか高純度のフッ化水素はつくれない、高純度のフッ化水素はやはり日本から手に入れるしか方法はないと思われるので。」

ナレ「日本が世界の市場をほぼ独占しているというフッ化水素、残る 2 つの品目に関しても世界シェアの殆どを日本が占めているといいます。」

"ナレ「規制強化に韓国政府は。」

成允模（韓国産業通商資源相）「(元徴用工を巡る) 我が国の最高裁判決に対する経済報復措置で、三権分立の民主主義の原則に照らして常識に反する措置で深い遺憾を表明する。」

"ソウルのデモ「謝罪と賠償をしろ」

ナレ「日本が踏み出した規制強化について韓国側が報復措置と上げたのが両国の間に横たわる徴用工問題です。日本企業に賠償を命じた韓国の最高裁の決定に対し、日本側は第三国を交えた仲裁委員会の開催を要請、しかし、韓国側はこれに応じず日韓関係悪化の一因となっております。」

西村康稔（官房副長官）「今回の見直しは適切な輸出管理制度の運用を目的としたものであります。対抗措置ではありません。」

ナレ「対抗措置との見方を否定する日本政府ですが、韓国外務省は今日、日本の長嶺大使を呼んで抗議、韓国政府は今後、WTO 世界貿易機関への提訴を始めとする必要な措置を取るとしています。日本と韓国の溝はこんなところにも。」

ナレ「先日の G20 で安倍総理と韓国のムン・ジェイン大統領は 8 秒ほど握手を交わしたものの、会談などはせず、G20 のために来日した 27 の国と地域のうち、今回安倍総理が首脳らと会談をしなかったのは韓国を含む 6 カ国（韓国、イタリア、チリ、メキシコ、カナダ、オランダ）だけでした。」

"ナレ「これについて韓国紙は」

朝鮮日報「日本、ムン大統領の空港への歓送やレッドカーペットもなかった。」

中央日報「ムン、安倍、8 秒間の握手で終わり。」

中央日報「日本政府の対抗措置は G20 期間中、ムン大統領と安倍総理間の会談が不発に終わった直後に発動されることとなった。」

ナレ「お隣、韓国との関係は今後、どこへ向かうのでしょうか。」

"小川彩佳「輸出規制の強化が発表されましたけれども、貿易でお互いがこう、対抗するとなるとまたちょっとフェーズが変わってきますよね。」

星浩「そうですね。まあ今回の対抗措置ということなのか、ということ政府高官に効いてみたら、まあ徴用工問題の直接の対応ではないんだけど、最近の韓国の日本への姿勢に対する事実上の対抗措置であることには間違いのないことですので、まあそういうことなのでしょう。まあ徴用工問題はね、日本がその勧告に仲裁を申し込んでいるんですけどもなかなか応じないということなんですけど、仲裁はですね、協定に基づくものですから、やはり韓国はなるべく応じるべきだと思いますよね。それはね、で日本も仲裁を早くやってくれと要求していくのは当然だと思います。ただ G20 で日本は議長国として自由貿易を推進しましょうと訴えたわけですよね、そういうことですから、今回のその措置がね、徴用工問題が貿易問題に波及してくるという、そういう自体はなるべく避けるような知恵を絞る必要があると思いますね。」

このトピックに当てられた時間は 337 秒だった。輸出管理というのは単なる貿易問題にとどまらず、安全保障上の問題にもなっている。そういう意味ではフッ化水素をはじめとした三品目が安全保障上どういった位置づけの品目になりうるのか、という点についても取り上げるべきであろう。

また、安全保障上の問題であればこそ、やはり自由主義や民主主義、法の支配といった基本的な価値観を共有しているかどうかという点は重要であるが、これまでの韓国の対応がそうしたことへの疑いを抱かせるようなものであるならば、問われているのは徴用工問題ではなく、徴用工問題を通じて露呈した韓国の体質なのではなかろうか。また、韓国側の立場を伝えたり取り上げるシーンに比べて日本側についてはフッ化水素について日本人学者の見解を伝えるシーンはあれど日本側の立場を伝えたり取り上げるシーンが殆ど見られなかった。今回の取



り上げ方は放送法第四条一項四号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」という点からは不十分なものであったと言えるだろう。

・日本が国際捕鯨委員会から脱退：結論→特に問題なし

日本が国際捕鯨委員会から脱退したことについて以下に朱記したように取り上げられていた。

小川彩佳「日本の食文化としてかつては身近な存在だったクジラの肉ですが、IWC 国際捕鯨委員会から日本が正式に脱退したことで今日から 31 年ぶりに商業捕鯨が再開されました。」

"ナレ「赤身のステーキに、様々な部位の刺し身、これらは鯨の肉です。」

客 A「うまいですよ、ベーコンもあるし皮のところもあるし、それぞれ色んな味があって楽しめます。」

客 B「高タンパクで低カロリーなので、あのいいなと持って食べています。」

ナレ「今後、こうした鯨の肉がより身近な食材になるのでしょうか。」

"ナレ「今日、31 年ぶりに商業捕鯨が再開されました。山口県下関市を出国したのは 3 隻の捕鯨船。北海道釧路港では 5 隻の捕鯨船が出港、関係者はこの日を待ちわびていました。」

貝良文（日本小型捕鯨協会会長）長かったですねえ、ようやくここまで来た、本当に嬉しく思います。」

"ナレ「これまで日本では生息数を調べるという目的で南極大陸や太平洋の公海を中心に調査捕鯨を行ってきました。これからは十分な生息数が確認されているミンククジラなどを対象に、日本の領海や EEZ (排他的経済水域) で販売目的の商業捕鯨が行われることとなります。そして、夕方には今朝出国した船が早速クジラを捕獲し、釧路港に戻ってきました。」

報告「31 年ぶり、商業捕鯨で大きな大きなミンククジラが水揚げされます。」

ナレ「くじら料理を提供する店はより質の良いくじら料理を提供できる、と声を弾ませます。」

谷光男さん（クジラのお宿一之谷）「近くでとってすぐ持ってくれば鮮度廃止、まずは新鮮なもので美味しいもの、本当にいいことだと思います。」

"

"ナレ「古くから捕鯨を行ってきた日本、鯨の肉は食文化として根付いていました。かつては価格が安く栄養豊富な庶民の味として学校給食にも。」

ナレ「その流れが変わったのは 1980 年代でした。IWC 国際捕鯨委員会が商業捕鯨の一時停止を決めたことから日本は商業捕鯨を中断、国内の消費もピーク時の 50 分の 1 ほどに落ち込みました。しかし、捕鯨国と反捕鯨国の対立が深まる中、日本は昨日付で IWC から正式に脱退、これを受け今日から 31 年ぶりに商業捕鯨を再開したのです。ところが今では商業捕鯨の再開と聞いてもピンとこない人達も多いようです。」

通行人 A「(クジラは) 水族館で見えるものですかね。どっちかっていうと。」

通行人 B「他の食材で足りると言うか、まあ売りに出ていなければやはり買わない、買う機会もないですし。」

ナレ「また、供給量の拡大も頭数制限などで先行きは不透明です、さらに懸念はほかにも。」

ナレ「昨日、IWC から正式に脱退した日本ですが、国際機関からの脱退は極めて異例で海外からは厳しい目が向けられています。」

"荒川健太郎（報告）「釧路港です。海外のテレビ局も来るなど世界的な注目の高さも伺えます。」

ナレ「捕鯨船を取材する報道陣の中には多くの海外メディアの姿が。」

アメリカの通信車「アメリカから見ている人たちはみんな大反対かな、と。」

"ナレ「今日、吉川農水大臣は。」

吉川貴盛農水相「商業捕鯨は国際法に従って科学的根拠に基づいて適切な資源管理を行いつつ実施するものでございますので、オブザーバーとして積極的に参加するなど国際協力は継続をしていく。」

"ナレ「これに対し、専門家は商業捕鯨再開は国際機関のもとで捕鯨を行わなければならないという国際法に違反すると主張します。」

石井敦（東北大学東北アジア研究センター准教授）「日本政府としては国際捕鯨委員会にオブザーバー参加をすれば国際法を遵守しながら沿岸で商業捕鯨をできるというポジションですけど、それは基本的に間違いで、そういう行為をしますと今までの多国間主義とか国際法の秩序を守るというそういう大義名分も崩れてしまいます。」

ナレ「期待と懸念が渦巻く中での日本の商業捕鯨、政府は引き続き国際社会に理解を求めることにしています。」

このトピックに当てられた時間は 372 秒で特に問題は見られなかった。

・イランの低濃縮ウラン：結論→特に問題なし

ロイター通信によるとイランが貯蔵する低濃縮ウランが核合意の上限を超え 300 キロ以上となったとみられることがわかったとのこと、IAEA は査察官が貯蔵量を検証するとしているが、アメリカの合意離脱以降はじめての義務違反となれば核合意の先行きは一層不透明となる可能性があるとのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 33 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・【異論反論】 #なくなる喫煙所：結論→特に問題なし

今日から学校や役所などの公共施設で国内は完全に禁煙となるとのことで、タバコが吸える場所が減ることについての街の声が取り上げられていた。

街の声 A (男性)「反対かな、俺が吸うから、うまいこと分煙すればいいんじゃないかなと思うんだけど。」

街の声 B(元喫煙者、男性)「基本的には賛成ですね、吸う人の権利と吸わない人の権利、どちらが優先されるべきかって考えたときには、今は吸わない人の権利のほうが大事なのかなっていうふうに思うので。」

街の声 C (女性)「めちゃくちゃ反対です。ご飯食べながらとか、やっぱり休憩して吸いたいので。」

街の声 D(非喫煙者、女性)「私個人としては吸わないので賛成、タバコ吸われている方が行き場をなくしてしまって路上で座れちゃうのは問題かなと思うので、どこか吸えるところをちゃんと整備していただければ、と。」

街の声 E (喫煙者、男性)「喫煙者からするともういきづらいですよね。飲食店とかで吸えないとなるとなんていうか癒やしとかないじゃないですか。」

街の声 F(非喫煙者、女性)「個人としては賛成、です。どうしても喫煙所のところから漏れてくるのがあったので、吸わないものとしては助かります。」

このトピックに当てられた時間は 90 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。



## NEWS23 週刊報告 詳細版

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年7月2日
<p>出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕                  ゲスト：村木祐輔（気象予報士）</p>		
<p>検証テーマ：香港デモ、イランの低濃縮ウラン、放送文化基金賞、                  【異論反論】#「党首討論」聞きたいテーマは</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あす猛烈な雨で気象庁が避難呼びかけ</li> <li>・国土交通省などが「計画運休」対策発表</li> <li>・香港デモ</li> <li>・キャッシュレス決済</li> <li>・2歳の女儿を放置し死亡させた事件で新事実</li> <li>・エンゼルスのスカッグス投手が急死</li> <li>・イランの低濃縮ウラン</li> <li>・放送文化基金賞</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・【異論反論】#「党首討論」聞きたいテーマは</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香港デモ：結論→特に問題なし</li> </ul> <p>香港のデモについて以下に朱記したように取り上げられていた。</p> <p>小川彩佳「さて、続いては混乱が続く香港です。昨日番組でもお伝えしましたがけれども、デモ隊が議会を占拠しましてその後警官隊が強制的に排除するという自体に発展しました。香港政府、そして中国政府も激しく非難、出口は見えません。」</p> <p>"なれ「落ち着きを取り戻したかに見える今日の香港、割られたガラスや歪められたシャッターなどが昨夜のデモの激しさを物語っていました。昨日、議会に当たる立法会に押し寄せた若者たち、中国本土への容疑者引き渡しを可能とする逃亡犯条例改正案の完全撤廃を求め暴動を起こしました。」</p> <p>森岡紀人（報告、昨夜の映像）「今、シャッターを破ってデモ隊が立法会に入りました。」</p> <p>ナレ「ガラスやドアを破壊して回ったデモ隊、壁は落書きで埋め尽くされていました。さらに。」</p> <p>森岡紀人「絵を持っていっていますね。」</p> <p>ナレ「絵画を略奪しようとする行為にデモ隊が声を荒らげる場面も。」</p> <p>デモ隊「こいつは邪魔しているぞ。」</p> <p>ナレ「デモ隊は3時間に渡り議場を占拠しました。」</p> <p>デモ隊「香港人はもう負けられない。もしこれ以上負けたら10年後には民主社会がなくなってしまう。」</p> <p>ナレ「そして、日付が変わった午前1時過ぎ、ついに警察がデモの制圧に乗り出しました。デモ隊を催涙ガスの白い煙が覆います。警察はわずか一時間ほどで立法会や周辺の大通りをほぼ制圧。香港政府によりますと警察、</p>		

放送法遵守を求める視聴者の会

デモ隊あわせて 59 人のけが人が出たということです。」

"ナレ「香港政府のトップ、林鄭月娥行政長官は。」

林鄭月娥（香港行政長官）「香港における法の支配が最重要であり、（暴力と破壊行為は）強く非難されるべきです。」 "

"ナレ「中国政府も。」

耿爽（中国外務省報道官）「暴力的に立法会に突入し、やりたいように施設を破壊する行為は法を踏みにじり社会秩序を脅かす重大な違法行為だ。」 "

"ナレ「今回のデモには香港市民からも非難の声が上がりました。」

香港市民 A「どんどん過激になっていると思います。」

香港市民 B「デモ隊はたしかに落ち度があるから法律による審判を受けるべきだ。」 "

"ナレ「一方、参加者はこれまでのデモとは異なるある印象を受けたといいます。」

イアンさん（機能のデモに参加した 23 歳）「警察はあまり暴力は使わなかった、みんながちょっと変だと思いました。警察の目的はデモの参加者は暴徒そういうイメージを世界に見せたい、90%以上の人は（暴動を）やらない。」 "

ナレ「逃亡犯条例改正案撤回を求めるデモ隊、しかし一連の騒動で香港は混迷の度合いを深めています。」

"小川彩佳「うーん、デモ隊のこの議会への突入はやはり国内、香港内でも批判の声が出ていますねえ。」

星浩「そうですね、まあ雨傘革命以来、静かなデモを整然とやって来たわけですよね、それでまあビジネスの世界でも支持が広がって 200 万人にまで膨れたわけですよね、で今回のデモには明らかに違法行為がありますのでそこはちょっと反省をしてもらってですね、これからどういうふうに立て直していくのか考えていく必要が出てきましたよね。」

小川彩佳「ただ取材に応じてくださった参加者の方からは、暴力はダメ、平和的に訴えてもダメ、ではどうすれば声が届くの、という悲痛な訴えがあったようですね。」

星浩「ただですね、香港事情に詳しい専門家に効いてみますと、今回の件があったものですから、これおそらく容疑者を検挙しますよね。その裁判をどうするのかを含めて今度民主化の運動グループの中でも対立がでかねないわけで、これは逆に言うと当局側の思う壺になっちゃうかもしれませんよね。」

小川彩佳「逆効果になってしまうというね。」

星浩「こういう大きい運動ですからね、先鋭化することもあるでしょうからね、やはり国際世論に訴えるためにはデモというのは民主主義の一つの大事なツールですからね、これをうまく使って整然とした運動を進めてもらいたいと思いますね。」

小川彩佳「味方を増やして。」

星浩「そうですね。」 "

このトピックに当てられた時間は 322 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・イランの低濃縮ウラン：結論→特に問題なし

イランが核合意で定められた低濃縮ウランの貯蔵量の上限を超えたことをアメリカのトランプ大統領が非難したとのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 38 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・放送文化基金賞：結論→特に問題なし

障害のある息子を持つ記者が相模原市で起きた障害者殺傷事件の被告との面会を通して、差別意識の現状を探ったラジオを番組『SCRATCH 差別と平成』が放送文化基金賞ラジオ部門の最優秀賞に選ばれたこと、番組は取材した神戸金文記者が所属する RKB 毎日放送と TBS ラジオが共同制作しニュース 23 でも取り上げたということが伝えられました。このトピックに当てられた時間は 32 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・【異論反論】#「党首討論」聞きたいテーマは：結論→特に問題なし

明後日工事される参議院選挙について、あすニュース 23 のスタジオで 7 党が激論を交わすことをうけ、聞いてみたいテーマについて街の声が取り上げられた。

"市民 A「ネタだけ教えてもらっていいですか。あー無理だ、きつい」

市民 B(自営業者、57 歳)「政治の問題ですか、はい。それはやっぱりアメリカと中国の問題について話し合ってもらいたいですよね。」

市民 C(会社経営者、59 歳)「僕らで言うと働き方改革、あとは何。」

市民 D(会社経営者、58 歳)「年金問題もお願いしたい。」

市民 C「自民以外がだらしがないから何討論しても変わらないとおもうよ、これ。」

市民 E(会社員、25 歳)「増税反対と増税しなくちゃいけないという感じなので、なんで反対なのかはすごく聞きたい。」

市民 F(会社員、28 歳)「堅苦しいお話しを集まってされるんやろうな、っていうのは。」

市民 G(主婦、54 歳)「女性がおられてもいいのかな、とは思うんですけども。」

市民 H(会社員、20 代)「安倍さんしかわからない。若い人がいたほうがいいのかなどは思いますけど。」

市民 I(会社員、38 歳)「子供が小さいので保育園の話とか、スローガンだけで実質、中身が伴わない事が多いので、そういう話を番組の中で討論してもらえれば、あの判断材料になるかなと。」

ナレ「以上、オブジェクションでした。」

このトピックに当てられた時間は 89 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。明日の党首討論でどの程度、こうした街の声が反映された討論になるのかは注目である。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年7月3日
<p>出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕</p> <p>ゲスト：村木祐輔（気象予報士）</p>		
<p>検証テーマ：党首討論、韓国への輸出規制強化、岩屋防衛相が山口県に謝罪</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・九州南部で降り続く記録的な大雨で大雨特別警報の可能性も</li> <li>・鹿児島県などで大雨により 110 万人以上に避難指示が出される</li> <li>・党首討論</li> <li>・【異論反論】#「お前」は不適切？</li> <li>・EU 主要ポストの半数が女性に</li> <li>・男性(80)がペダル踏み間違え交通事故</li> <li>・フランス当局がルノーに家宅捜索</li> <li>・ユニクロがレジ袋を 10 円で有料化</li> <li>・韓国への輸出規制強化</li> <li>・岩屋防衛相が山口県に謝罪</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・党首討論：結論→問題あり</li> <li>党首討論が取り上げられていた。</li> </ul> <p>【シーン 1】</p> <p>"小川彩佳「スタジオには自民党の安倍総裁、野党立憲民主党の枝野代表を始めとして与野党 7 人の代表者の方をお招きしております、今日はお忙しい中ありがとうございます。星さん。」</p> <p>星浩「はい、えー、参議院選挙は中間評価の選挙ですよ、安倍政権の政策に対する有権者がどう採点をするのか、その材料を提供できる討論にしたいと思っていますので、よろしくおねがいします。」</p> <p>小川彩佳「それでは早速こちらから参りたいのですが、参院選で重視するテーマを有権者の皆様にお伺いしました世論調査なんですけれども一位はやはり年金や医療などの社会保障、二番手は少子高齢化や子育て対策、そして消費増税の是非、と並んでいるんですけれども」</p> <p>小川彩佳「まずはこういった、社会保障の分野について有権者の皆さんが何を求めているのかこちらの VTR をごらんください。」</p> <p>【VTR 1】</p> <p>"有権者 A(70 代)「粉の間から問題になっている 2000 万、3000 万、そんなお金持ってる人なんていませんよ、そんな一杯。」</p> <p>有権者 B(30 代)「実際数字で出されて、まあ不安じゃないかって言われたら不安になりますし。」</p> <p>有権者 C(20 代)「それこそ 2000 万円は必要だと思うんですけれども、まあ伝え方じゃないですかね、なんか麻生さんの言い方じゃないんですけれども国民の立場になって答えればいいと。」</p>		

有権者 D(70代)「野党が弱いんですよ追及しきれないんです。」 "

"テロップ「平均所得：4年ぶりに前年下回る(1世帯あたり年間約551万円)厚労省の調査(きのう発表)」

有権者 E(60代)「最低賃金を上げるとかね、あと高齢者の福祉をもう少し充実させるとかさ、やっぱりさ軍事じゃなくてそっちのほうをやってほしいんですよね。」

有権者 F(20代)「やっぱり女性が働きやすいとか、なんか復職しやすいとか、結構保育園も入れなくて、そういうところ改善してくれるような人がいたらいいと思います。」

"

"テロップ「生活が苦しいと感じている世帯57.7%厚労省の調査(きのう発表)」

有権者 G(60代)「厳しいです、楽な人って今いないんじゃないですか。」

有権者 H(70代)「(年金受給額)減っていますよね、知らず知らずのうちね、少しずつ惹かれているって感じがしますね。」

有権者 I(20代)「なんか(年金は)自分らがもらえるか分からないのになんで(年金保険料)払わないといけないのかな、って思ってます。そのだってもらえなくなりそうじゃないですか、私らがおばあちゃんになる頃。」

有権者 J(20代)「消費税じゃないですかね、消費税、上げなくていい。」

有権者 K(60代)「こういうときに果たして消費税を上げるっていのやっぱり収入の少ない人達にもろに打撃を加えますよね、それは政治にとって果たしていい選択かっていうのはあります。」

有権者 L(70代)「いろんな社会保障をやる上で、消費税っていうのは公平な税制なので、僕は上げるべきだと思いますよ。」

有権者 M(60代)「仕方がないかもしれないねちゃんとした財源が今、消費税しか頼れないものね。」 "

## 【シーン2】

小川彩佳「やはり年金や老後の2000万円のあの報告書が余波を感じていて、それからやはり消費増税についても様々なご意見も聞かれましたけれども、こうした年金や社会保障に関する不安をじゃあどうやって解消していくのかについて早速党首の皆さんにお伺いして参ります。あの、ご発言が40秒を越えますと、こちら、このようにランプが点灯しますので、なるべく短くですね40秒以内に収めていただければと思います。」

小川彩佳「それではまず、自民党の安倍総裁からお願いします。」

"安倍晋三(自民党総裁)「あの、様々な声に答えなければいけないのですが、世帯の収入が減っているというテロップがありましたが、あの現役世帯のですね、現役世帯の勤労世帯については3万円、月3万円増えていますから、これが事実ですからまず申し上げておきたいと思います。高齢者の世帯が増えましたので、平均するともう少ししたらテロップの通りかもしれません、現役世帯の勤労世帯については月三万円増えているということです。年金についてはですね、まさに現役世帯の皆さんの保険料、そして税金によって年金は支えられているわけでありまして、打ち出の小槌はない。将来はどうしても高齢化ですから支えられる人たちが増えていきますが、支え手が減っていく。」

小川彩佳「はい、40秒経ちました。」

安倍晋三「大切なことなので、政策によってはそれを増やしていくことができます。我々は雇用を良くすることによって400万人支えてが増える。そして年金の積立金は44兆円増え。」

小川彩佳「後でお時間ありますのでルールはお守りいただければと。」



安倍晋三「総論として増やしているということでありますから、つまり厚くすべきことは、政策によって厚くすることは可能だということをおし上げておきたいと思います。」

小川彩佳「はい、安倍総裁からお話をいただきました。」

小川彩佳「続きまして、立憲民主党の枝野代表お願いします。」

"

枝野幸男(立憲民主党代表)「はい、わたしたちは 2000 万円を貯めなければならない社会ではなくて大きな蓄えがなくても安心できる社会を目指す、というのを掲げています。確かに年金の全体の底上げをしていくということは大変膨大な財源が必要になります。したがって年金については低年金の皆さん、特にこれから非正規で長く働いたために国民年金などで年金の額が低くなる人がますます増えていく可能性が高い、そういった皆さんの底上げはしっかり図っていく、一方で大事なことは医療や介護、借家などの住居費などですね労働の生活に最低限かかる費用についてそれぞれの老後の所得に応じてですね、しっかりと上限をかなり低めに設定して蓄えがなくても最低限の生活ができる、こういう社会を目指していくべきだと考えています。」

小川彩佳「続きまして、国民民主党の玉木代表お願いします。」

玉木雄一郎(国民民主党代表)「はい、不安を取り除くには 2 つやらなければいけません。まず 1 つはですね五年に一回出している年金の健康診断のような財政検証。これを出さないからですね、一体どうなっているんだってみんな不安なんですよ、これを参議院選挙の前に出さないっていうのがね、一番私は不安の源になっていますから、今からでもぜひ、総理、これ出してください。で、これに限らず、アメリカとの密約があるんじゃないかと、知りたいことが国民に示されないからみんな不安がっているんですね。で、もう 1 つはわたしたち今後家計第一ということをお掲げて提案していますけれども、いろんな形で家計の可処分所得を上げていく、まあ子育ての支援をすとか、あるいは年金の足りない人には上乘せをすとか、家賃補助をす、こういうことで消費を軸とした好循環に変えていかなければいけません。」

小川彩佳「はい、続きまして公明党の山口代表お願いいたします。」

山口那津男(公明党代表)「はい、今の年金制度が長く続くということはこれは保障されているわけです、現に制度としても改善されてきましたし、また、雇用が増えて保険料収入も増えました。また、年金積立金の運用でこれも 44 兆円 6 年間で増えました。改善されていることは明らかです。しかし、このことと人生 100 年時代をどう暮らすかということはまた別な次元の話なんです、ですから 100 年時代に備えて高齢でも働ける人は働いて収入を得る。そういう道を広げる、あるいは家を借りるんじゃなくて、持ち家にするにはどうしたらいいのか、また借りている人の家賃はどうやって補助するかですね、あるいは健康で長生きできるようにするには医療費をかからないようにするにはどうするか、こういったことの組み合わせだと思えます、これから議論をもっともつと深めるべきだと思っています。」

小川彩佳「続いて共産党の志位委員長。」

"志位和夫(共産党委員長)「あの年金の前に一番私問題はマクロ経済スライドと言いまして、連続的に水準を下げるという仕組みが二十数年間続くと、でこれが続くとどうなるかということになります、これは安倍さんの方から私の方に答弁書が昨日届いたんですけれども今の物価賃金で比べれば 7 兆円減ると、で、基礎年金で言えば 3 割減ると、ですからいま国民年金と言いましたら満額で 6 万 5 0 0 0 円、それが実質的にはですね、4 5 0 0 0 円まで減ってしまう、とてもいきていけない、ですから私はねまずマクロ経済スライドはやめて減らない年金

にすると、わたしたちは具体的な財源策として高額所得者優遇の保険料の仕組みをただす、それから支え手をで  
すね、しっかり強めるために賃上げや正社員化を進める、」

小川彩佳「時間となりました。」

志位和夫「積立金を計画に運用すると、こういうことを提案をしております。」

小川彩佳「続いて日本維新の会、松井代表お願いいたします。」

松井一郎(日本維新の会代表)「ええ、社会保障や教育無償化というサービスを支えるためには財源が必要なんで  
す、僕はこの地方で、大阪というところで知事を二期、今市長やっています、で、大阪においては増税をしなく  
ても教育無償化、8年前から私立高校は無償にしていますし、今年の三月からは幼稚園保育園、3歳から教育費  
無償化実現しています、増税やっていません。どうやってやってるかと言うと、まず政治家が自分たちの身分を  
見直す、役所は改革をやってきたんです、メタボな役所をスリムに作り変えること、これは現実にできます、こ  
のことを全国に広げていけば、増税なくても社会保障財源は作れる、これはもう現実にやっていますから自信が  
あります。」

小川彩佳「そして社民党の吉川幹事長お願いいたします。」

吉川元(社民党幹事長)「先程、そのVTR見ておりましたけれども6割の方が生活が苦しいと。で、国民の6割の  
方が生活が苦しい政治というのはやはり私は間違っているのだというふうに思います。で、2000万、300  
0万といろいろお話しがありますがいわゆる金融資産を持たない世帯は実に3割に登っていて、その方々  
に2000万円用意してくださいという話ってのは、これはもうどう考えても無理な話だということで、政府の  
文書の中に最近は少し削っていますけれども、自己責任という言葉が度々出てきています、で、政府が国民に対  
して自己責任という言い方をするのはこれは政府の責任放棄だということは言っておきたいと思います。」

"小川彩佳「はい、皆さんからお話しをいただきましたけれども、この社会保障に関する不安はどう解消していく  
かというところでしたが、やはりここは財源とセットの話となってきますよね。」

星浩「まあ10月からね消費税が引き上げになるんですけども、ここで枝野さんと玉木さんいお伺したいん  
ですけども3党合意のときの10%はおふたりとも賛成だったわけですよ、三党合意の10%と今回の10%に  
反対というのはどういう理屈になるですか。」

枝野幸男「あのときの判断は結果的に間違っていたと思って反省をしています。一つは消費税8に上がったとき  
にこれまではそうではなかったのですが、消費に対して継続的な悪い影響を与えるという結果が出ています。お  
そらく経済のベースが変化している。なので今の状況で上げたら経済に大打撃を与える。2つ目は社会保障の使  
われるということについての国民の信頼が完全に損なわれている。これでは国民の理解は得られない。3つ目は  
やはり直間比率がゆがんでいる、これだけ過去最高の利益を上げている企業、法人が法人税を十分に払っていな  
い。むしろ相対的な比率は下がっている、やはり法人の所得税、それから金融所得課税、こうしたところでき  
っかりと課税をせず払える人から払っていただくということをやらないとこれ納税者の納得は得られない、こ  
の3つをやらないと消費税は上げられないと思っています。」

小川彩佳「玉木代表どうでしょう。」

玉木雄一郎「あの、まずは軽減税率、これまあ1兆円くらい減税になりますけれども、そのメリットのたった1  
割しか300万円以下の年収の方にしかいきません9割のメリットは中高所得者に集中するので、極めて格差を広  
げる税制に変貌してしまいました。また、ポイント還元もそうなのですがカードを持った豊かな人にしかですね、

やっぱりポイントは還元されないということで二重三重に格差を広げる税制になってしまっている、それからもう1つは政府も日銀も出していますように景気が悪化していますよね。で、この状況で本当に消費税を上げてしまったら、わたしたちはこの消費を軸とする好循環を回すのがこれからの経済に不可欠だと思っているのですが、今はやるべきではないですね。」

小川彩佳「今の状況では上げるべきではないという声でしたけれども皆さんご意見のある方は挙手をお願いします。志位さん。」

志位和夫「あの、わたしたちは消費税という税金そのものに反対ですけどもやはり今の情勢のもとで上げていいのかというこれが大問題だと思うんですよ、で、あの、消費税8%をきっかけにして家計消費は年25万円減っています。それから労働者の実質賃金は10万円減っている。それから内閣府の景気動向指数は二ヶ月連続で悪化、日銀の景気評価も二ヶ月連続で悪化、もう景気が悪いのはこれはもう明らかなわけでこれだけ悪いときに増税するというのは過去にも例がないですよ。3%のときも5%のときも8%のときも、一応政府は景気が良いというのが建前だった、ですからねこの情勢のもとでの増税というのは本当に自殺行為になる。ですからやめるべきだと、消費税に頼らない道を目指すべきだと。」

小川彩佳「はい、予定通り。」

安倍晋三「家計消費が減っているというのは間違いです2016年から回復をしています、そのことは事実としてお伝えしておきたい、それから6月ですねこの日銀の調査の結果なんですが、製造業についてはまあ6月ですから米朝の交渉どうなるか、っていう不安要因がありましたから、これは不安が大きかった、しかし米中ですね、あのような一応ディールが成立した、とりあえずは成立をしました。落ち着いた感じありますよね、株価が上がってきた、また非製造業については依然として高水準なっています、そして設備投資も悪くはない、ですからこのときについてはですね、将来の社会保障制度をしっかりと守っていく、あるいはまた幼児教育の無償化も行います、そして国の信頼を守るためにも消費税を今、上げなければならない、こう考えております。」

志位和夫「間違いと言われたので反論します。」

小川彩佳「はい。」

志位和夫「家計消費が落ち込んでいるのは間違いだと言われましたけれどね、2月の予算委員会で議論したじゃないですか、あの8%の増税をきっかけに家計消費が25万円下がって水面下に沈んだままだ、と。で、GDP全体で見てもですね3兆円下がって顔を出していない、で、安倍さんに水のしたじゃないですか、と。言ったら、確かに志位さんのグラフ見たら水の上に顔が出てないと言ってくれたじゃないですか、ですから下がっているのは事実なんですから。」

安倍晋三「それは志位さんのグラフで水面下、それは間違いです、それは8%に上げる前の話と比べているのですが2016年から持ち直しているのは事実でありますし、好調な企業収益を回復に、同時になんとと言っても雇用がいいですから我々が政権を取る前、今よりも100万人失業者が多かったわけですから、当然その中で例えば最低賃金についても我々、この6年間でですね125円上げています。去年は26円かな、この制度が始まって新しい計算方法では過去最高となっているわけでありまして、6年連続ですね、この政権に入って最も高い水準の賃上げが続いています、そういう状況の中でですね、今度ですねご負担をお願いしたい、それはまさに社会保障をしっかりと維持していくために。」

志位和夫「これ本当はね、事実と違うんです。」

小川彩佳「昨日、厚生労働省からでた国民基礎調査、で生活が苦しいと感じている世帯 57.7%これはどう受け止めればよいのでしょうか。」

安倍晋三「たしかにですね、あの、皆さん十分にそれを今の豊かさを感じる状況を作っていきたいと思っておりますが、一方内閣府の調査でですね、75%が今の生活に満足しているこれは過去最高の数字です、逆、満足していないというのも過去最低という数値もあるわけでありまして。大切なことはですね、働きたいと思う人に仕事があるという状況なんだろうと思っております。私は 380 万人の雇用を作り、史上初めて正規の有効求人倍率が 1 倍を越えました、かつ、47 全ての都道府県で 1 倍を越えたのも初めてです、今年の 4 月高校大学を卒業した若い皆さんも過去最高になっているという状況も作っている。」

志位和夫「ちょっといいですか。」

星浩「次のテーマにいきたいと思っております。」

小川彩佳「申し訳ありません。次のテーマに移ります。VTR には街の声として将来の不安として備えて家庭の所得を増やすために女性が働きやすい環境を作るという話がありましたけれども、これも一つの課題です。」

星浩「そうですね、ここでちょっと今度の選挙で話題になっている夫婦別姓について議論したいんですけどもこれ内閣府の調査で賛成が 42.5%、反対が 29.3%ということなんですけれどもこれは枝野さんが提起されているということもあるんですけどもこの問題の意義はどういうふうに考えているんですか。」

枝野幸男「はい、あのやはりですね通称使用などでは特に社会的に活躍をされている女性がいろんな不都合を受けるんですね、特に海外行かれる方、パスポートに併記したってそんな制度は外国にないですからいろんな説明をしなくちゃいけませんし、それから法律上の氏を変えるだけでもですね、様々な手続きとかコストがかかるわけです、それをですねみんな別姓にしろというのだったら、それは色んな意見を聞かなければいけません、別姓にしたい人だけ認めてくれというのですから、これを否定する理由は全く無い、法制審も私が国会議員になる前からこれやるべきだということ出しているのにこれだけ進んでいない、もうそろそろ限界ではないか、そろそろ結論をだすべきだ、私は強く感じています。」

星浩「安倍さん、ご自身ですね、この選択的夫婦別姓についての考え方をお聞きしたいんですけども。」

安倍晋三「まず冒頭ですね星さんが働きやすい女性が働きやすいということをおっしゃいましたね、であのこの 5 年間でですね 280 万人の女性が働き始めました。25 歳以上ですね、すべての世代で就業率はアメリカを越えています。で、そしていわば役員、大企業の役員のボードメンバーもですね、これ政権取る前の倍になっているということは申し上げておきたい、と思っております。そして賃金格差も今までで一番少なくなっている、そして賃金の上昇率も一番高くなっているということも申し上げておきたいと思っております。そのうえで、今のグラフにおいてもですね、意見がもちろん賛成の方が多いですが、分かれているという状況で、まさに基本にかかるところでありますから慎重に議論していきたいと思っております。」

星浩「そういう問題では公明とは自民党とはちょっとスタンスが違う。」

山口那津男「夫婦別姓を認めるべきだという立場ですね、今はやっぱり一人っ子のご家庭が多いんですね、そうするとやはり男性であれ女性であれ自らの氏をそのまま続けたい残したい、こういう思う人がとっても多くなっている、そういう社会的実態があつて法制審議会でも法律上も問題ない、そして諸外国でもこれを実施して問題なくやっている国が多い、と。いずれをとってももう認めていい環境ができていますね。社会的必要性があると思っております。」

小川彩佳「安倍さんご自身はその法改正夫婦別姓、選択的夫婦別姓賛成ですか、反対ですか。」

安倍晋三「あの、まずマイナンバー制度とパスポートについては旧姓使用が安倍政権において可能となりました。あの、これ私自身の意見というよりも、私自民党総裁として、自民党代表しておりますから自民党において議論が整わないことをですね軽々に言うべきではないと思っています。」

小川彩佳「さて、一旦このあたりで一区切りとさせていただきますしてコマーシャルをはさみます、コマーシャルのあとはこちら、選挙戦を前に話題となったこちらの冊子を取り上げます。」

### 【シーン3】

"小川彩佳「さてあすからの本格的な選挙戦を前にちょっと刺激的な資料が出回っているということでちょっとこちらご紹介したいんですが、あの自民党本部が選挙演説にという参考という案内付きでこの自民党議員に配布したとんでも野党とメディアの非常識という冊子なんです、ページを開きますとこちら、目次なんですけれどもとんでも野党のご乱心ということで、このようにたっぷり批判が書かれていまして更にめくっていきますと、例えばこちらのページには立憲民主枝野代表の無責任を笑うということでこうした挿絵入りで描かれています、で、この挿絵をちょっと抜き取ったフリップがありますのでこちらをご覧くださいたいんですが、はい、このような形ですね。それぞれのその項目のタイトルと挿絵なんですけれども星さん、」

星浩「総理これ国会議員に20部ずつですかね配られていて、ご覧になったことありますか。」

安倍晋三「あの、まあ党本部ですもんねいろんな冊子を配っていますが、私いちいちそれは見ていませんので全く知らないのですから、無責任だということでは無責任だと思いますよ、例えば立憲民主党と言いながらですね、憲法9条について、統一候補を選んでいるにもかかわらず共産党は自衛隊違憲だと言ってますよね。で、枝野さん合憲だと言っている。これ、立憲なんだから、憲法の根本、安全保障の根本じゃないですか、それなのにそれを横においておいて統一候補っておかしいでしょ、特に福井県においては立憲民主党、候補者を擁立しない、島根鳥取もそうですよね、で共産党の候補者を応援している、で、枝野さんに聞きたいんですけれども、枝野さん福井県に住んでいたら共産党の候補者に入れるんですか。」

枝野幸男「あの、有権者の皆さんは様々なテーマの中からその時その時何が重要かということで選択をされるわけですが、そうした中で今私達はこの六年間にいい分は良いかもしれないけれども、かなりの多くの国民の皆さんの生活が破壊されている、これ以上は限界だという状況の中でやっぱり生活防衛こそが今の国民の皆さんの一番のテーマだとわたしたちは考えています、そうした観点で一致をしているみなさんと今の政治を延長するのか、それとも生活防衛のための政治を進めるのかという明確な選択肢をお示しをしている、そして安全保障と憲法については安保法制は違憲であるのでこれは変えるべきだということできちっと合意をしている。あの、何もどこか指摘をされるような問題があるとは全く思っておりません。」

安倍晋三「それは違いますよ。」

星浩「その前に、志位さんがなんかほとんど人間じゃないようなあれなので。」

安倍晋三「今、大切な点なんです、その前にね、その前にね、ニコ動の討論のときに、ニコ動の討論のときにですね6年間は統一候補が当選したら、例えば憲法の違いについてはですね、憲法の違いについては主張をしないとされていた、つまり共産党系の候補者も当選したら憲法9条反対しないという趣旨の発言をされました、しかし実際、沖縄の統一候補はですね自衛隊は憲法違反だと堂々と言っているじゃないですか、これ、枝野さん、違うじゃないですか、その点どうなんですか。」



小川彩佳「ご意見反論ありますか。」

志位和夫「あのわたしたち野党六派はですね自衛隊違憲か合憲かという点ではたしかに立場が違います、ただ、今問われているのは合憲か違憲かではない、安保法制という立憲主義を壊して憲法違反の法律を作った、これを許せないということでまず一致をしている、それから13項目の合意をきちっと結んでいます。市民連合の皆さんと。ですからね、あの、当面の本当に国民の切実な願いに即して統一をやっているわけでそれをココあってね、ああだこうだとケチをつけるというのは総理としていかななものかと、これについて言いますとね、私はね、あのこの挿絵についてコメントは要らないと思うんですけども人格を貶めるようなものを平気で作る、そして、あの出してるところがテラスプレスっていうんですか、出所不明ですよ。ね、安倍さんね、出所不明の文書をね、自民党の本部として国会議員に配るんですか、これはねこれ一点とっても本当に選挙を真面目にやる資格がないって言われてもしょうがないですよ。」

安倍晋三「先程申し上げましたように、私読んでないですから反論のしようがない、今いきなり言われたんですから、そんな似顔絵よりもですね、中身についてちゃんと、じゃあ憲法だったら憲法の論争をしましょうよ、星さん。」

志位和夫「いやいや、そんなね、まともなね、議論に耐えうるようなものじゃないですよ私見ても。」

星浩「枝野さん、さっきの質問で、福井県に済んでいたら、その共産党系の候補者に投票するか否か、これはどういう。」

枝野幸男「あの、まず私共は、すいません福井県ではどの候補者にも推薦などはしていません。それぞれ、立憲民主党にご期待を頂いているみなさんもそれぞれのご判断をしていただくというつもりですが、わたくし福井県民なら野党統一候補に投票します。当然。」

安倍晋三「今おっしゃったんですけれども、先程申し上げましたように憲法は自衛隊か違憲か合憲か、今もですね災害出動していますよ、その中でその自衛隊を明確に違憲だと共産党言っていますよ。立憲民主党、立憲主義なんですよ、それを横においておくというのは私、極めて無責任だし、自民党候補を倒して、みんな主張がバラバラの人たちが通ってきてですね、それでばらばらになってしまう、まさにこれはね、12年前と同じですよ。」

小川彩佳「玉木さんいかがですか。」

枝野幸男「まず、この選挙は衆議院選挙、政権選択選挙ではありません、今の安倍政権の暴走をどう止めたいのか、ということで今の安倍政権の暴走をブレーキをかける必要がある、というみなさんがわたしたちはマジョリティだと思っています、その上で共産党さんも今すぐ自衛隊を廃止しろという主張は全くされていない、当面はまずこの安保法制をやめさせることだということで完全に一致をしておりますのでなんら問題はないというふうに思います。」

志位和夫「あの、私達の立場については一言言いますと。」

小川彩佳「ちょっとここで次のテーマに参りたいんですけども、よろしいでしょうか。」

志位和夫「ちょっと一ついいますとね、私達違憲という立場ですがそれを野党共闘に持ち込むと、いうことはしてませんから、ですからね、これは一点でね、協力すると。で、すぐになくすとも言っていないから、やっぱり段を追ってやっていく、と。ということ言ってるんです。もう何度も言ったじゃないですか。」

玉木雄一郎「あの、こういう、こういう冊子はやめてくださいよ、ね。」

志位和夫「そう、冊子については反省してくださいよ。」



玉木雄一郎「まあ、やめたほうが良いと思いますよ。」

松井一郎「まず出所不明のものもね、自民党も配るのも大人気ないと。横綱自民党がね、大関も小結もいないんですから、横綱自民党が。ただね、僕、大事な参議院選挙の党首討論でね、出所不明のあれをね、その本を、TBSがTBSが取り上げてやるような話なんかだと思いますけどね。」

小川彩佳「議員に配られた話について紹介させていただきました。では続いて、続いてのテーマに参ります外交問題に参ります、こちら、待ってくださいね、自民党の公約ご覧ください、自民党の政策パンフレットなんですけれども、その1つ目の柱として描かれています、こちら、外交に参ります、アメリカのトランプ大統領やロシアのプーチン大統領、北朝鮮の金正恩党委員長とどのように向き合っていくべきなのか、まずはこちらのVTRを御覧ください。」

#### 【VTR2】

ナレ「5月、来日し異例のおもてなしを受けたトランプ氏、しかし、貿易交渉については、」

トランプ大統領「大きな貿易不均衡がある。日本が有利だ。」

ナレ「焦点はアメリカ産牛肉の輸入や日本車の輸出。」

トランプ大統領のツイート「多くの成果は7月の日本の選挙のあとだ。大きな数字を期待している」

ナレ「参議院選挙のあとに一体何が起きるのか。一方動くかに見えた北方領土交渉は。」

前原誠司(国民民主党元外相、VTR)「日ソ共同宣言に基づき2島を返してください。こんな無様なことはないですよ。」

安倍晋三(VTR)「あの、これは、あの、私どものですね、この認識、あるいは法的立場というものは全く一貫して変わりはない、と。」

ナレ「そして激変する北朝鮮情勢。」

安倍総理(2017年、VTR)「ただ、対話のための対話には、意味はありません。」

安倍総理(今年5月、VTR)「金正恩党委員長と条件をつけずに向き合わなければならない、」

ナレ「一筋縄ではいかない面々を相手に、日本は。」

#### 【シーン4】

小川彩佳「ということでまずは、トランプ大統領。」

星浩「そうですね、玉木さんは今回日米交渉で農産物の関税引き下げに対してですね、日本企業とアメリカの間でそのいろんな約束、密約があったのではないかとご指摘をされているんですけども、その点はどうですか。」

”

玉木雄一郎「トランプ大統領がツイッターであのように欠いてありますから、特にアグリカルチャーアンドビーフっていうふうに明示的に対象も書いていますからね、それは当然まあ密約的なものがあるのではないかと疑わざるを得ませんし、まあ7月の選挙のあとということも明示をしているし、そうすると参議院選挙終わって今度はアメリカ大統領選挙ですから、そりゃまあアメリカに有利で日本に不利なものがなにか決まっているんじゃないかと疑うのは当たり前ですから、そこはね、これもある程度は明らかにしてもらわないと、大事なことを隠して参議院選挙が終わって、また、それができてですね、まあ結果として騙されましたというようなことはですね、やっぱり不誠実なことだと思いますから、ここはこういうふうに分方が言っている以上はですね、一定の説明責任が総理にはあるんじゃないかと思えます。」

安倍晋三「あの、ちゃんと説明します。あの、昨年の9月にですね、昨年の9月に日米で合意しました、共同声明を出しました。それは、過去の経済連携協定で約束した内容が最大限ということを決めました。交渉する入り口でしっかりと枠をはめたということはまさに外交的勝利だったと思います。もう一点は交渉している間、追加的な関税をかけない、約束を守っていますよね、かかっていますか、今、かかっていませんよね、かけるかどうかの議論もしていませんよね、つまりこれはちゃんと約束を守っています、ですから、もちろん密約なんてありませんよ。これは約束なんですから、両首脳がサインをした約束ですから、ですからそれが全てだということある。それでですね、密約だ密約だというのは勝手ですが、なにか証拠でもあるの？」

玉木雄一郎「いや、無い証拠がないんですよ、無い証拠がないから言っているんですよ、しかもトランプ大統領が総理と並んで会見したときに自分はTPPは関係ないということをおっしゃった。で、過去その日米両国で結んだ過去の経済連携の中にそもそもTPPは入っているんですか、入っていないんですか、それが明示的じゃないから、なぜあそこにTPPと入っていないのか。」

安倍晋三「過去の経済連携協定、TPPが入っているのは当たり前じゃないですか。」

玉木雄一郎「いや、なんで当たり前なんですか」

安倍晋三「過去の経済連携協定だからです。」

玉木雄一郎「トランプ大統領はTPPから抜けることを公約に大統領になったんですよ、縛られるわけじゃないじゃないですか。」

安倍晋三「違いますよ、根本的に、すみません、玉木さん根本的に現状認識が間違っているんですが。」

玉木雄一郎「いや、間違っていないですよ。」

安倍晋三「私が喋っているのですから、すみません、玉木さん静かにしていただけますか、学級、崩壊した学級みたいになっちゃいますから。そこでですね、まずTPPについてはアメリカはTPPから脱退をしました、だからトランプ大統領はTPPは関係ないと言っている。ですから、そういう意味ではTPPに縛られていませんし、TPPの権利もありますが、しかし日米で共同声明を出した。それには過去の経済連携協定で約束した内容が最大限、といている、そして私はそれをトランプ大統領と口頭で確認をしている、そしてその際にはTPPということにも言及をしています。過去の経済連携協定で農産物について最大限、TPPが入るのは当たり前じゃないですか。ですから、そう申し上げているのであってですね、あの、まさにそれは密約があるというのはもう約束があるのですから、それでもうピリオドなんです、で、かつてですねTPPのときも密約とかいろいろ言われました。でもTPP結びましたよね、そんな事ありましたか？無いんですよ。」

小川彩佳「すみません、40秒を越えてしまっています、申し訳ありません。志位さんお願いします」

志位和夫「もともと、この議論の出発点、安倍さんは日米FTAではないな、TAGなんだ、ということを繰り返しました。TAGなんだ、と。しかしTAGという言葉は日米の共同声明文の英訳の中にはないんですね。そしてトランプ大統領は包括的な交渉をやっている、と繰り返している。包括的な交渉というのはサービスも含む、これ日米FTAそのものなんですよ。ですからね、FTAじゃないんです、FTAじゃないんです、と言いながら、言いながらですね、実際にはFTA交渉を今進めようとしている。そして8月には良い結果が出るでしょう、と。こうなりますとね、結局あのTPPで譲歩した線を更に踏み越えて、もう相手から関税の撤廃でやられ放題にやられる、と。で日本の食料主権も経済主権も全部差し出すと、こういう結果にならざるを得ないですよ。」

安倍晋三「ならないですよ」

小川彩佳「吉川さんどうぞ」

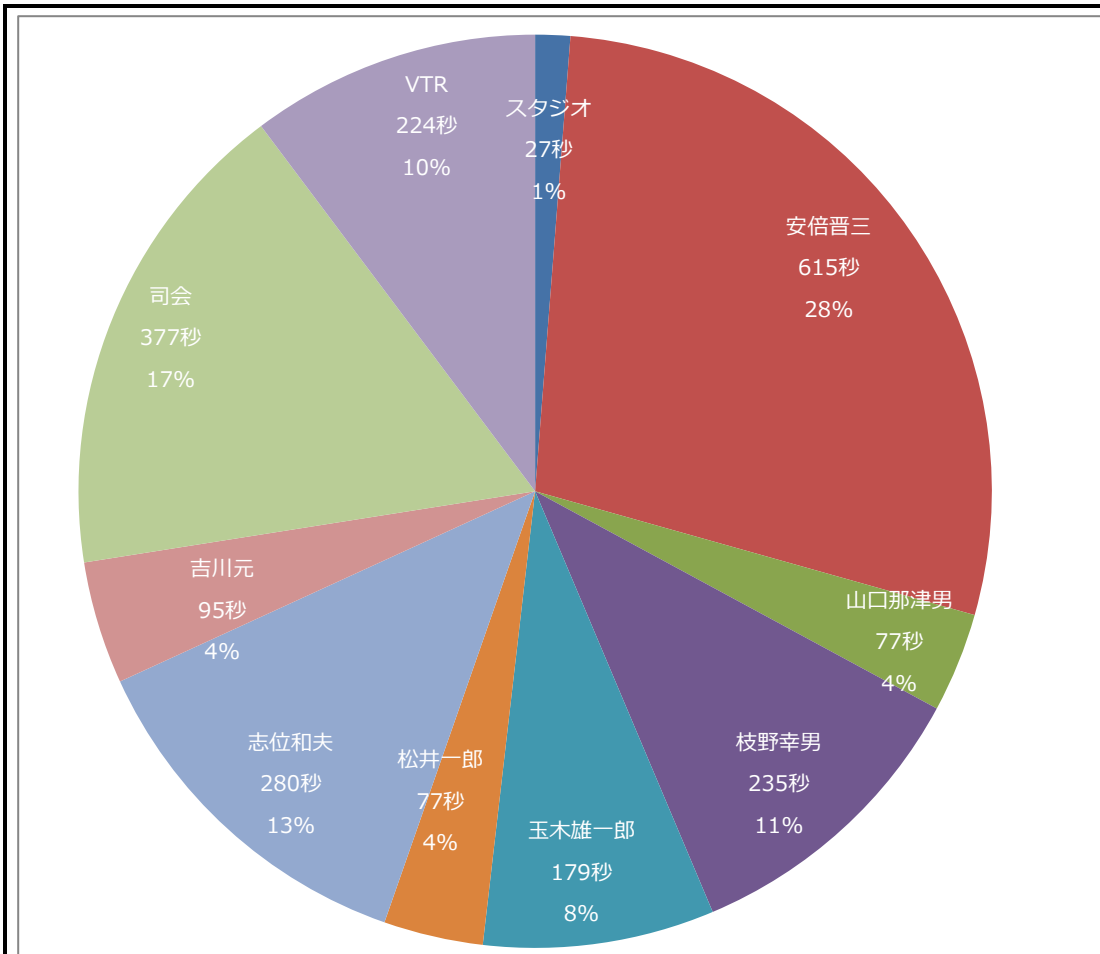
吉川元「あの、この間のね安倍総理がそのトランプ大統領と話をして一番最初、なんて言われたと、アメリカ抜きで TPP は意味がない、と最初に言われたんです。でその後 TPP11 になりました。で、そのときに言われたのはアメリカと FTA、いま志位委員長が言われたようにアメリカと二国間協議はしないと書いていたのに、いつの間にか、私はこれは FTA だと思います、前、以前に言ったことがありますけど、チャーハンを焼き飯といえれば別な単語になるのか、そういうレベルの話でこれ全く FTA だと、FTA だというように思います、でそういう約束をしていないと言われても、こういう過去の言動が明らかに最初に言った話と途中の話と最後の話が大きくずれてきている、と。だとすれば今回だった実際どんな約束をされたのか、実際トランプ大統領はいっているわけですからそういうことを。」

安倍晋三「いいですか、まずアメリカ抜きで TPP は意味がないという発言は確かにしました。では、なぜ私がその発言をしたのか、それはなんとかですねアメリカを TPP に、これはつなぎとめようとそういう意志から、まさにアメリカに向かって、あるいはアメリカの国民に向かって、そして TPP の他の国々に向かってですね、アメリカを引き留めようということでした。でも残念ながら最終的に、抜けるという決断をトランプ大統領がしたのは大変残念であります。しかしその後、その後、TPP11 でやるべきだと一番最初に言ったのはわたくしです、で、TPP11 を日本がリードしてこれをじょうじゅしました。これについてはですね、当時のオーストラリアあるいは、この TPP11 のシンガポールのリー・シェンロンもですね、日本を称賛してくれているのは事実、です。ですからそれで TPP11 はできた、その上においてですね、今度は米国とバイの交渉をいましているということなんです。」

星浩「続いてですね、この安保、安保の話なんですけれども同じトランプ大統領が日米安保は不公平な合意だ、これは実は 6 ヶ月間安倍総理に伝えてきているんだ、というまあ話をされているんですけども、」

小川彩佳「今夜は大雨のニュースをお伝えする必要があったため党首討論はここまでの放送となります、続きは明日以降お伝えいたします。」

このコーナーに当てられた時間は 2186 秒だった。



それぞれの党首の発言に咲かれた時間は上記のとおりであった。

書き起こした党首討論のように、野党から与党に問いかけるというシーンが多かったため、それに答える与党自民党党首である安倍総裁の発言のシーンが突出して大きな割合となっていたが、その分、野党の党首の発言シーンを合計すると、与野党としては時間配分は拮抗しており、時間配分の点からは放送法上は特に問題となる箇所は見られなかった。

他方で、党首討論で取り上げるアジェンダセッティングとしては、日本維新の会の松井一郎代表が「まず出所不明のものね、自民党も配るのも大人気ないと。横綱自民党がね、大関も小結もないんですから、横綱自民党が。ただね、僕、大事な参議院選挙の党首討論でね、出所不明のあれをね、その本を、TBS が、TBS が取り上げてやるような話なんかだと思いますけどね。」と指摘したように、出所不明のものを取り上げてアジェンダにしたり、小川キャスターの「次のテーマに移ります。VTR には街の声として将来の不安として備えて家庭の所得を増やすために女性が働きやすい環境を作るという話がありましたけれども、これも一つの課題です。」という発言を受けて、星キャスターが「そうですね、ここでちょっと今度の選挙で話題になっている夫婦別姓について議論したいんですけどもこれ内閣府の調査で賛成が 42.5%、反対が 29.3%ということなんですけれどもこれは枝野さんが提起されているということもあるんですけどもこの問題の意義はどういうふうに考えているんですか。」と発言し、家庭の所得や女性の働き方という極めて経済的な性格の強い問題から、夫婦別姓という価値観を巡る性格の強い問題を抽出するなど、前日の放送で紹介された街の声や、今回の放送でも取り上げられていた世

論調査とはかけ離れた番組制作サイドの恣意的なアジェンダセティングが目立ち、そうした意味では放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」という点では問題のあったものと言える。また二号の観点からは、印象操作の項で後述するように司会の進行の仕方でも問題があるといえる

・韓国への輸出規制強化：結論→特に問題なし

日本政府による半導体の材料の韓国への輸出規制の強化が始まりましたとのこと、韓国のカンギョンファ外相は、不合理で常識に反する報復措置だと述べ、WTO 世界貿易機関への提訴など必要な措置をとる考えも示しているとのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 20 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・岩屋防衛相が山口県に謝罪：結論→特に問題なし

ミサイル迎撃システムイージスアショアの配備をめぐり調査ミスが相次ぎ見つかった問題で岩屋防衛大臣は山口県を訪れ知事らに謝罪しこと、岩屋氏は調査をやり直すと言った上で配備への理解を求めましたとのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 18 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

・党首討論：結論→印象操作の疑いあり

冒頭で小川キャスターが「やはり年金や老後の 2000 万円のあの報告書が余波を感じていて、それからやはり消費増税についても様々なご意見も聞かれましたけれども、こうした年金や社会保障に関する不安をじゃあどうやって解消していくのかについて早速党首の皆さんにお伺いして参ります。あの、ご発言が 40 秒を越えますと、こちら、このようにランプが点灯しますので、なるべく短くですね 40 秒以内に収めていただければと思います。」小川彩佳「それではまず、自民党の安倍総裁からお願いします。」と党首討論のイントロを行ってその後に安倍総裁が発言をするというシーンが以下に朱記したようにあった。

"安倍晋三(自民党総裁)「あの、様々な声に答えなければいけないのですが、世帯の収入が減っているというテロップがありました、あの現役世帯のですね、現役世帯の勤労世帯については 3 万円、月 3 万円増えていますから、これが事実ですからまず申し上げておきたいと思います。高齢者の世帯が増えましたので、平均するともうしかしたらテロップの通りかもしれません、現役世帯の勤労所帯については月三万円増えているということです。年金についてはですね、まさに現役世帯の皆さんの保険料、そして税金によって年金は支えられているわけでありまして、打ち出の小槌はない。将来はどうしても高齢化ですから支えられる人たちが増えていきますが、支え手が減っていく。」

小川彩佳「はい、40 秒経ちました。」

安倍晋三「大切なことなので、政策によってはそれを増やしていくことができます。我々は雇用を良くすることによって 400 万人支えてが増える。そして年金の積立金は 44 兆円増え。」

小川彩佳「後でお時間ありますのでルールはお守りいただければと。」

安倍晋三「総論として増やしているということでありまして、つまり厚くすべきことは、政策によって厚くすることは可能だということをおっしゃりたいと思います。」

小川彩佳「はい、安倍総裁からお話しをいただきました。」

このシーンは確かに時間で言えば 84 秒ほどのシーンであったが、前半部分は VTR やテロップが取り上げていないデータを紹介するものであり、VTR やテロップが最初から取り上げていれば、言及する必要がなかったシーンであり番組の構成上、安倍総理が時間オーバーせざるを得ないような構成が作られていたとも見受けられる。また、イントロで小川キャスターは「ご発言が 40 秒を越えますと、こちら、このようにランプが点灯しますので、なるべく短くですね 40 秒以内に収めていただければと思います。」と発言をしているが、こうした希望条項のような伝え方では「一発言あたりの持ち時間は 40 秒というのがルールである」というのは伝わらないだろうし、そもそも持ち時間が 40 秒であるならば 40 秒時点でランプが点灯するというのも奇妙なルールで、普通は持ち時間が残り少ないことを示すためにアラームとしてランプを点灯させるのだから、ランプが点灯した時点では残り時間がある、というような運用をしなければならぬのではなかろうか。

また、党首討論では以下に朱記した 2 つのシーンで、小川キャスターが 40 秒という時間について言及している。

#### 【シーン 1】

安倍晋三「私が喋っているのですから、すみません、玉木さん静かにしていただけますか、学級、崩壊した学級みたいになっちゃいますから。そこでですね、まず TPP についてはアメリカは TPP から脱退をしました、だからトランプ大統領は TPP は関係ないと言っている。ですから、そういう意味では TPP に縛られていませんし、TPP の権利もありませんが、しかし日米で共同声明を出した。それには過去の経済連携協定で約束した内容が最大限、とっている、そして私はそれをトランプ大統領と口頭で確認をしている、そしてその際には TPP ということにも言及をしています。過去の経済連携協定で農産物について最大限、TPP が入るのは当たり前じゃないですか。ですから、そう申し上げているのであってですね、あの、まさにそれは密約があるというのはもう約束があるのですから、それでもうピリオドなんです、で、かつてですね TPP のときも密約とかいろいろ言われました。でも TPP 結びましたよね、そんな事ありましたか？無いんですよ。

小川彩佳「すみません、40 秒を越えてしまっています、申し訳ありません。志位さんお願いします」

#### 【シーン 2】

"志位和夫(共産党委員長)「あの年金の前に一番私問題はマクロ経済スライドと言いまして、連続的に水準を下げるという仕組みが二十数年間続くと、でこれが続くとどうなるかということになります、これは安倍さんの方から私の方に答弁書が昨日届いたんですけれども今の物価賃金で比べれば 7 兆円減ると、で、基礎年金で言えば 3 割減ると、ですからいま国民年金と言いましたら満額で 6 万 5 0 0 0 円、それが実質的にはですね、4 5 0 0 0 円まで減ってしまう、とてもいきていけない、ですから私はねまずマクロ経済スライドはやめて減らない年金にすると、わたしたちは具体的な財源策として高額所得者優遇の保険料の仕組みをただす、それから支え手をですね、しっかり強めるために賃上げや正社員化を進める、」

小川彩佳「時間となりました。」

志位和夫「積立金を計画に運用すると、こういうことを提案しております。」

このほかにも 40 秒という時間を超えて発言したシーンは散見されていたが、小川キャスターが時間について言及したのはこれらのシーンのみであった。

他の党首の発言シーンがどれも 40 秒以内に収まっているのであれば、問題はないが、他の党首の発言シーンでも 40 秒を超えたものが多数ある中で、自民党の安倍総裁や共産党の志位委員長の発言シーンでのみ槍玉に挙



## NEWS23 週刊報告 詳細版

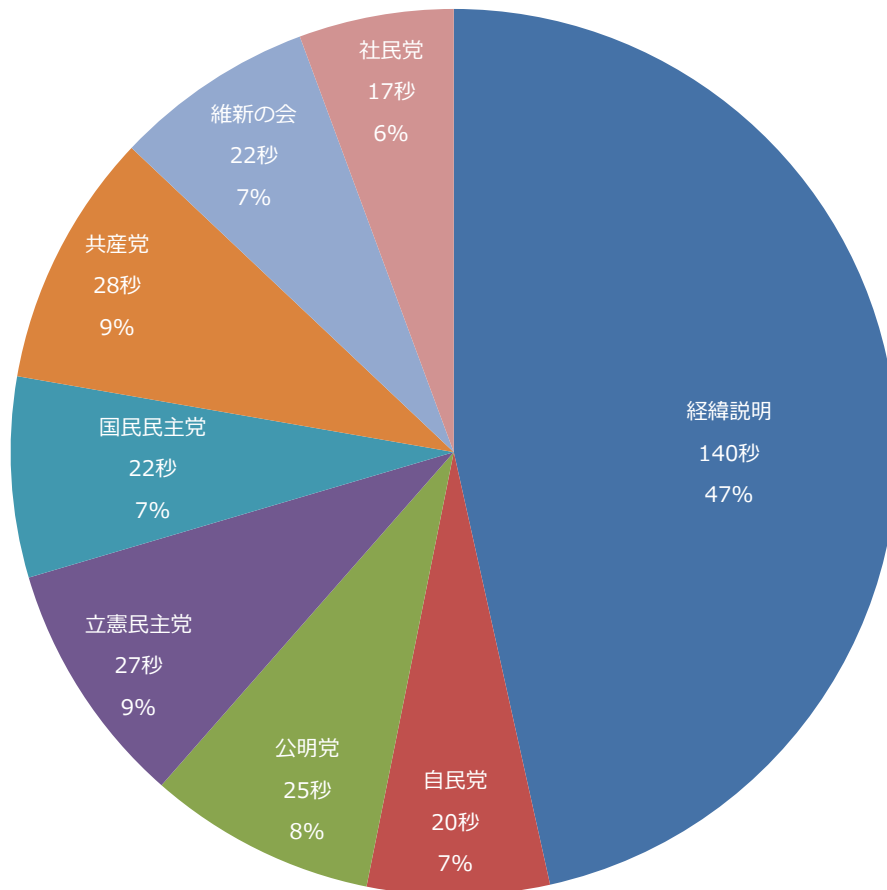
げるような司会のやり方で、公平性を著しく欠いたものであるのみならず、他の政党党首に比べて自民党の安倍総裁と共産党の志位委員長が時間にルーズであり、また発言を時間内にまとめる能力がないあるいはルールを守れない人物であるかのような印象を視聴者に与える恐れがある。

検証者所感

特になし

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送：2019年7月4日
<p>出演者：【キャスター】小川彩佳、山本恵里伽、星浩、石井大裕          【ゲスト】村瀬健介（キャスター）</p>		
<p>検証テーマ：参院選公示、続・党首討論</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・九州記録的大雨</li> <li>・参院選公示</li> <li>・続・党首討論</li> <li>・五輪チケット再抽選</li> <li>・newstories             <ul style="list-style-type: none"> <li>・7Pay 不正アクセス問題</li> <li>・マスク表示根拠なしで措置命令</li> <li>・トラックから5トンの鰹が落下</li> </ul> </li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・#異論反論 objection 「東京五輪チケット再抽選」</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参院選公示→結論：放送法第四条の見地から評価できる。</li> </ul> <p>今回は参院選公示に伴い、各地で行われた各党首の街頭演説の様子が伝えられるとともに、民間の会社で行われている若い世代に選挙に行ってもらおうための取り組みなどが紹介された。今トピックに充てられた報道時間は301秒で、経緯説明・自民党・公明党・立憲民主党・国民民主党・共産党・維新の会・社民党に焦点があてられる内容であった。なお、今トピックにおいて民間の取り組みは「経緯説明」として時間計測を行った。それぞれの時間配分は以下の通り。</p>		



報道の内容は以下の通り。

小川「続いては 17 日間の選挙戦がいよいよスタートです。第 25 回参議院議員選挙がきょう公示されました。私たちの将来を選択する大事な選挙です。」

ナレーター「総務省で行われた抽選。今日公示の参議院議員選挙の立候補の届け出順を決め決める抽選です。立候補したのは 370 人。124 の議席を争います。自民党の安倍総裁は福島で第一声。」

安倍総裁「しっかりと国会議員としての責任は果たして、議論をする候補者・政党を選ぶのか。議員としての責任を果たさず、審議を全くしない政党や候補者を選ぶのか。それを決めていただく選挙でもあります。」

ナレーター「連立を組む公明党の山口代表は神戸で。」

山口代表「国内の課題、そして世界の課題を前にした時に、この荒波を乗り切るためには何よりも政治が安定をしなければならない。連立政権に公明党がなくてはなりません。」

ナレーター「立憲民主党の枝野代表は野党の多くが選んだ新宿で演説。」

枝野代表「皆さんおひとりおひとりの暮らしは、暮らしの安心は、どんどんどんどん壊されてきた。そんな 6 年半だったんじゃないでしょうか。政治が変われば、この国はこの国に住む一人一人の暮らしは、もっともっとよ

くなります。」

ナレーター「国民民主党の玉木代表は激戦が予想される静岡で。」

玉木代表「まず何よりも家計を豊かにすることによって、GDPの6割を占める消費を盛り上げる。消費を軸とした好循環を回す。この経済政策に変えていこうではありませんか。」

ナレーター「共産党も新宿。」

志位委員長「増税を強行するというのは愚の骨頂ではないでしょうか。皆さん今からでも止めることはできます。税金の在り方を決めるのは安倍首相ではありません。主権者である国民の皆さんです。」

ナレーター「日本維新の会はお膝元の大阪で。」

松井代表「今の時点で増税をするなんていうのは、国民の皆さんに負担をこれからも押し付けていく安易な増税なんです。これを何とか止めるために我々に力を持たせて頂きたい。」

ナレーター「社民党も第一声は新宿でした。」

吉川幹事長「結党以来憲法を守ることを党是としてきた社民党。国政政党としてこれからも国会の中で働かせてください。」

ナレーター「このほかにも比例ではご覧の党も候補者を届け出ました。ただ大きな課題は若者の投票率です。前回の参院選、20代の投票率は36パーセントと低迷しました。こうした中アウトドアブランドのパタゴニアでは。」

石黒友梨さん（パタゴニア）「私たちの地球のために投票しよう、というのを今日からやっています。」

ナレーター「地球のために投票しようというキャンペーンです。渋谷にあるこの店では投票に行くかどうかというアンケートや、メッセージを書いてもらうコーナーも。」

石黒「若い人の投票率を上げれば世界が変わるよと書いてあります。」

佐藤潤一さん（パタゴニア環境担当）「こういう場所で気軽に選挙について話してもらうとか、地球の将来について話してもらうということが楽しくてカッコいいというふうに思ってもらえればなと思います。」

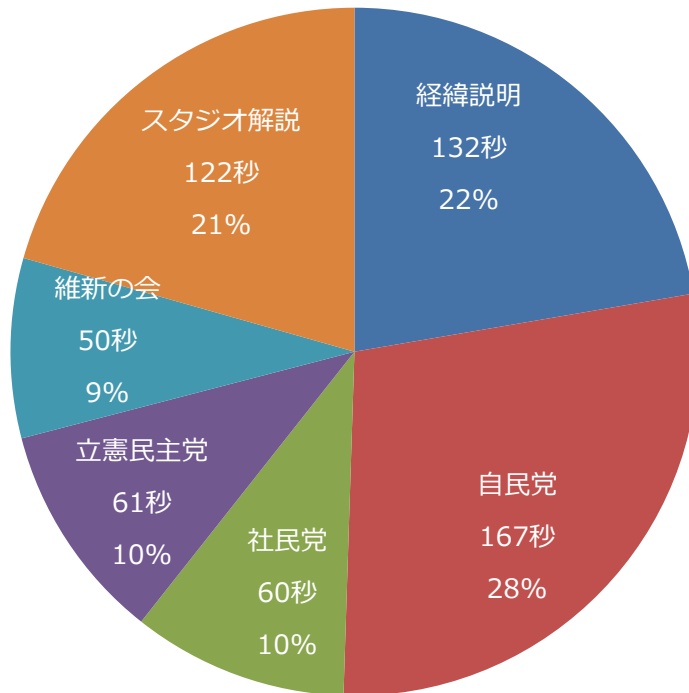
ナレーター「パタゴニアでは、投票日の21日、すべての直営店を休みとして従業員が投票に行けるようにもします。サーフィン好きだというスタッフは。」

石黒「(せっかくのお休みにサーフィンに行こうとは?)サーフィンに行きたい気持ちもあるんですけども、今ちょっと我慢して意見を表明すべき時にした方が自分たちの未来のためになるんじゃないかなと思ってます。」

時間配分を見ると、各政党の街頭演説の時間配分は極めて公平な内容と言える。この点は評価できる点として挙げられる。

・続・党首討論→結論：放送法第四条の見地から問題あり。

今回は参院選選挙に関して各政党の党首が討論する内容について、前日（7月3日）に続き、外交について討論する様子が伝えられた。今トピックに充てられた報道時間は592秒で、経緯説明・自民党・社民党・立憲民主党・維新の会・スタジオ解説に焦点が当てられる内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。



報道の内容は以下の通り。

小川「そんな皆さんにも投票の際の材料にして頂きたい。昨日もお伝えしました党首討論なのですが、続きの部分、後半部分をお伝えします。昨日は年金や夫婦別姓などについて議論がありましたが、今日は日米安保など外交がテーマです。」

星「続いて安保についてなのですが、同じトランプ大統領が日米安保は不公平な行為だ、これは実は安倍総理にも6か月間伝えてきたという話しをしているんですが、安倍総理は6か月間トランプ大統領からこの話しを聞いているんですか。」

安倍総裁「トランプ大統領は一番初めに会った時から、彼のトランプタワーで会った時から、日米安保についていろいろと言っていました。その時から私はずっと説明をしています。日米同盟の意味、5条と6条の意味。これらについて説明していて、米国も日米同盟によってアジア太平洋地域のプレゼンスを維持しているのは事実ですと、それによってあなたたちも大きな利益を得てきていますねという説明をずっとしてきています。トランプ大統領もずっと主張してきていますが、私もそれに対して反論を続けてきております。トランプ大統領は安倍さんは反論の天才だなども言っていますが、そういう反論をしつついずれにせよ日米同盟において、いわば日米関係において同盟というのは安全保障上の重要な柱だと思います。地域の平和と安定への貢献に大きく寄与していると思います。」

小川「遊佐さんはこれまで聞かれてどう思いますか。」

遊佐勝美 (TBS 政治部長)「トランプ大統領は、これは安倍さんにお聞きしたいんですけども、予測不能な行動が多いじゃないですか。安倍さん自身はトランプ大統領を誠実な人と思っていらっしゃるのでしょうか。」

安倍総裁「トランプ大統領との間においては約束したことはきちんと実行しております。その意味においては誠に実行してくれています。もちろん予測不能という面においてはそういうこともあります。ただ、日本にとって唯一の同盟国ですからその国の指導者としてしっかりと信頼関係を維持するのは、日本の総理大臣としての私

は一つの責任だと思っております。」

小川「ほかのご意見いかがでしょうか。」

吉川幹事長「私が危惧するのは、片務性の問題からさらに発展していった、たとえばアメリカが大きな戦争に踏み込んでいったとして、自衛隊の派遣を求めてくると思うんです。その時我々はすでに憲法 9 条によって集団的自衛権は禁止をされているというその制約を一部壊してしまったんです、安倍総理が。だとすれば、仮に自衛隊を出してくれと言ってきた時に、以前は我が国は憲法において集団的自衛権の行使は認められていないから、出せないんだと言えたものが、言えなくなっているんです。先日、トランプ大統領が 10 分前に攻撃はやめたという話をしました。攻撃はやんだんですけれども、もしかすると我々は戦争の 10 分前にいたかもしれないんです。だからこそわれわれはあの戦争法を何としてもなくさなければいけないということを強く訴えています。」

小川「枝野代表だったらトランプ大統領とどう向き合っていますか。もし自分が総理だとしたら。」

枝野代表「日本にとって大事な同盟国のリーダーですから、予測可能性が低いとか課題はいろいろあってもそこで友好関係をしっかりと結ばないといけない。その点では私は安倍総理を数少ない同情している点です。ただこの日米安保の双務性というのは、トランプ大統領にも反論されているとは思いますが、あえて申し上げますと日本からアメリカの国民であったりとか、アメリカの安全保障関係以外の政界の関係者に対してもしっかりとアピールしてこなかった。むしろ国内政治に若干利用したという点もあるのではないかと思います。そのツケを払わされかねないという心配を私はしています。もっと強く、そして広範に日米同盟は双務的なものであって、日本も相応の負担をしているというアピールをもっとしていかななくてはいけないと思っています。」

小川「ではここでコマーシャルを挟みまして、この後も議論を続けていきたいと思えます。」

(CM)

小川「さあ、ここからはプーチン大統領との向き合いという話になってくるんですけれども、北方領土問題のポイントですが、安倍総理はプーチン大統領と日ソ共同宣言を基礎に交渉するというをおっしゃっているわけですが。」

星「安倍総理、当初はやはり G20 で来日されるプーチン大統領との間で北方領土問題の大筋合意というのを目指していたわけですよね。どこにボタンの掛け違いといいますか、予想外の展開があったのでしょうか。」

安倍総裁「予想外というのはもちろんありませんし、ボタンの掛け違いもないんですが、そう簡単なことではないです。この問題は 70 年以上解決されていない問題であります。その中において、いわば双方が、あるいは双方の国民が受け入れ可能な形で合意を目指していくわけでありますが、その中で例えば四島の経済共同活動を進めていく中において今四島に住んでいるロシアの人々も日本に、それが日本のものになると、彼らが住んでいる場所ですから。ということも含めて理解を進めていかななくてはならない。ですから、当然時間がかかるし、ロシアの世論もあるわけですが、しかし、それに向かって我々が進みつつあるのは事実であろうと思います。」

星「今までは四島の一括返還といいますか、四島問題が中心になっていましたが、実質的に 2 島プラス  $\alpha$  ということで日本の交渉ポジションが下がったということはありませんか。」

安倍総裁「2 島プラス  $\alpha$  ということはございません。まさに、56 年宣言に則ってしっかりと我々は交渉を進めて



いくということでもあります。」

小川「交渉方針の転換というわけではないということですか。」

安倍総裁「それは56年宣言というのは両国の国会で可決しているものですから、まさにこれを基礎にしっかりと進めていこうということになるわけであります。」

小川「松井代表はいかがでしょう。」

松井代表「僕は日ソの話も、先ほどの日米の話も含めてやはり憲法の議論を真面目にやらないといけないと思っています。総理はトランプタワーで初めてトランプさんと会われた時から、トランプさんは不公平感を出されてきたわけですから、日米同盟のそのことを受けてやはり憲法の議論をきちんとやって、外交の中で日本がいかに存在感、存在価値を発揮していくかということ。真面目な憲法議論を憲法審査会で進めてもらいたいと思います。もう何年やっていないんですか。これは我々以外の野党の皆さんの妨害で止まっているわけですから、こういうことはやらずに国会議員として責任を果たしてもらいたいと思います。」

小川「40秒経ってしまいました。ちょっとここでお時間となってしまいましたけれども。」

星「あつという間でしたけれども、制限時間となってしまいました。また、選挙期間長いですから、選挙中にまた一層議論が活発になることを期待したいと思います。今日はどうもありがとうございました。」

小川「もっとお話をお伺いしたかったですけれども、2日にわたってお伝えしましたけれども、代表の皆さんの政策的な考えだけでなく、どこか人となりといいますか、菅尾の部分垣間見えた気がしましたね。」

星「そうですね。まず年金ですけれども、各党低年金の方々への対策は必要だという認識はあるんですね。与党側は10月から毎月5000円、年6万円を上限にしましょうということのはっきりとしているんですが、一方野党側はその6万円を最低限度にしてもうちょっと増やしましょうということを書いていまして、この話でもう少し接点が見いだせれば、低年金の方への対応というのは非常に大事な問題ですので、必要なんですね。ただ、中長期の年金制度をどうするかという点では相当まだ開きがあるなという感じでしたね。」

小川「そうですね。選択的夫婦別姓についてもお伝えしましたが、これは家族の在り方や何より女性の尊厳をどう捉えるのかという問題でもあると思うのですが、野党とともに与党の公明党も賛成。一方の自民党は賛否を決めていないという中で、安倍総理ご自身の賛否についてお伺いできなかったところは残念なところでしたね。それから今日お伝えしたのは日米安保や北方領土問題についてですが。」

星「はい。安倍総理は今回G20サミットで自由貿易の推進ということで一致点をまとめたということは成果なんだろうが、一方北方領土問題ではやはり4島の問題を転換して新しい対応をしていくんだと花火を上げましたけれども、結局進展なしということですし、日米ではトランプ大統領貿易と安保でかなり踏み込まれているんですけれども、その点はまだまだ説明が不十分だったと思います。これからは17日間運動がありまして、党首だけではなくて、各選挙区の候補者同士も討論してもらいたいと思います。」

時間配分を見ると、自民党とその他の政党の党首が発言した時間に大きな開きがあることが分かる。これは政治的公平性を欠くものと言える。

報道内容を見ると、安倍総裁に質問が多くされていることによるものだと分かる。政権与党を担う政党であり首相という立場であることに起因すると思われるが、政権与党という立場であるならば公明党もその資格を有する。その点で公明党に話が振られなかった点は疑問である。政権与党を担う公明党にも話を聞いてこそ、政権与党の中にある考え方が様々な角度から明らかになるはずである。

## NEWS23 週刊報告 詳細版

他党の党首の発言があったかどうかは7月3日分の放送との比較が必要となるが、少なくとも本日の放送の時間配分においては政治的公平性を欠き、多くの角度での論点が明らかになる内容とは言えなかった。

今回は放送法第四条第一項二号「政治的に公平であること」と四号「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」に抵触する内容であると言える。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨  
特になし。

検証者所感  
特になし。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年7月5日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
検証テーマ：韓国「慰安婦財団」が正式に解散、中朝会談		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカ独立記念日</li> <li>・7Pay の不正に国際的組織が関与科</li> <li>・九州で記録的大雨</li> <li>・世界遺産登録は明日に持ち越し</li> <li>・「いじめ手紙」を担任のシュレッダーで廃棄か</li> <li>・夫殺害のモルタル固め事件の地裁判決</li> <li>・九州北部豪雨から今日で2年</li> <li>・【金曜第三惑星】アフターピルは広がるか？</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・韓国「慰安婦財団」が正式に解散</li> <li>・イギリスの海兵隊がイランタンカーを拿捕</li> <li>・中朝会談</li> <li>・天気予報</li> <li>・クロージング</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国「慰安婦財団」が正式に解散：結論→特に問題なし                  慰安婦問題を巡る日韓合意に基づいて設立され、元慰安婦の支援事業を行ってきた、韓国の「和解、癒やし財団」が正式に解散したことがわかったとのこと、財団関係者は残った財産の清算手続きに入るとしてはいますが、日本政府は反発しているとのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は20秒で放送法上は特に問題は見られなかった。</li>   <li>・中朝会談：結論→特に問題なし                  北朝鮮の金正恩党委員長が中国の習近平国家主席と対談した際、条件をつけずに対話を目指すと安倍総理の発言に留意すると述べていたことがわかったとのこと、政府は日朝首脳会談の実現に向け、働きかけを続ける方針であるとのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は23秒で放送法上は特に問題は見られなかった。</li> </ul>		
<p>最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨</p> <p>特になし</p>		

# NEWS23 週刊報告 詳細版

検証者所感

特になし